

平成19年度 事務事業評価表		担当	産業環境部 観光課				内線等	1212
事務事業名	蒲郡まつり事業					事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)	
根拠法令等						Eなし		

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	観光
------	---------------------	-----	----

事務事業の内容

対象(受益者)	市民及び観光客に
手 段	蒲郡まつりを開催することにより
想定する成果	地域の観光振興をはかる

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
市負担金	33,600,000円	33,600,000円	33,600,000円
協賛金	12,860,000円	14,015,000円	14,390,000円
支出金額	44,416,332円	45,470,569円	45,270,000円
参加者、参観者	199,700人	212,550人	223,200人

成果指標

成果指標名	市の経費負担率	参観者一人当たりの経費
成果指標の説明	市負担金 / 支出金額 × 100	支出金額 / (参加者・参観者)

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		75.65%				73.89%				74.22%			
成果指標		222円				214円				203円			
事業費	事業費	33,600				33,600				33,600			
	人件費	4,670				4,686				4,707			
	(人数)	正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.6	非常勤	0.0	正規	0.6	非常勤	0.0
	合計	38,270				38,286				38,307			
財源内訳	国												
	県												
	市債												
	その他												
	一般財源	38,270				38,286				38,307			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	3	2	3	2	市を代表するイベントとして定着しており、市民の期待は高いためある程度の経費負担はやむを得ない。
経済効率性	3	2	2	2	ここ数年の協賛金額は毎年増加しており費用対効果が大きい。
事務効率性	2	1	2	1	各催事ごとに組織化されて事務も行われるようになり、市職員が総括的な事務を行っている。
必要性	3	3	3	3	花火を中心に市民だけでなく、市外からも多くの観光客が訪れ蒲郡市の観光振興に大きく寄与している。
小計	11	8	10	8	
施策への貢献度	3	2	2	2	観光交流立市がまごおりのイベントの中心で最大のものである。
合計	14	10	12	10	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	B	B	参観者も増加しているが、ここ数年の協賛者、協賛金の伸びは大きく、今後はより市民、観光客に魅力のあるイベントにしていく企画があれば一層効果が上がると思われる。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
現在モーターボート競走事業特別会計の負担金と市民の協賛金とで花火の打ち上げの費用を賄っているが、負担金減も考えられる中、協賛金の増額に向けて努力する。各催事部会において、事業活性化のために催事内容を見直す。
上記改善点の実施状況
市職員の積極的な協賛活動もあり、協賛金は毎年増加しており、ここ数年で倍増した。

今後さらに改善すべき点

毎年同じ内容で行っているイベントを精査し、常に各催事の内容を検討し、市民、観光客が望む企画を行うようにする。

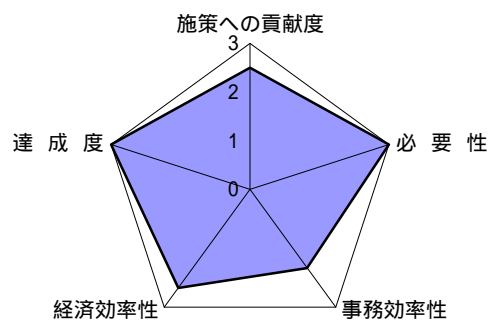
平成21年度予算に反映する項目

今後の方向性

現状維持

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点